

# 川づくり コーディネーター 制度

地域の川の魅力や課題を発見し、川づくりを実施してみたいという市民の皆さまに対して、手を携えとともに、専門家（川づくりコーディネーター）を派遣する等の支援を行う制度です。

## 「川づくり」ってなに？

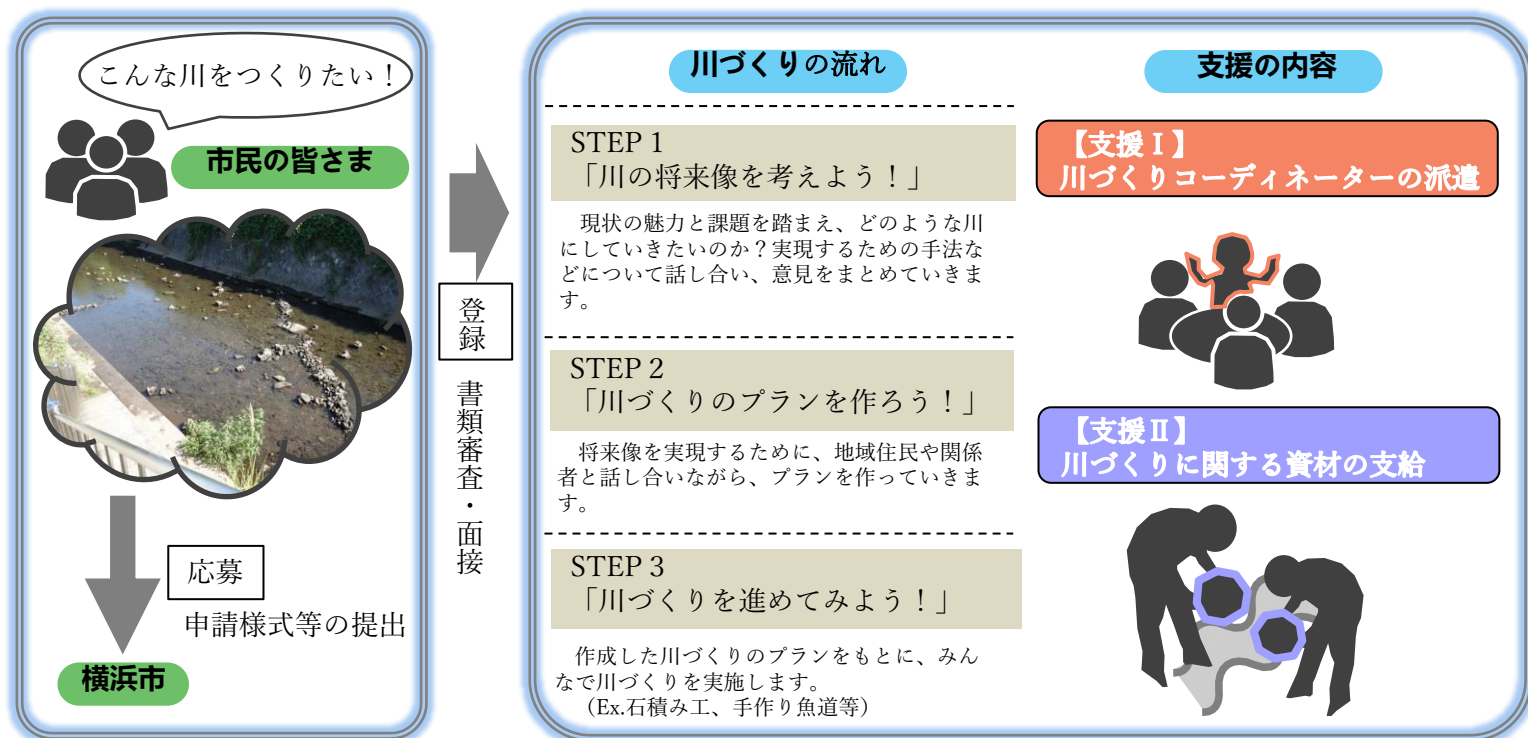
豊かな河川環境の再生・保全を図ることを目的とした、魚類等の生息環境改善に向けた取組です。

「川づくり」の事例は、裏面をご覧ください。



河川部マスコット  
「ハマカワさん」

## 「川づくり」の流れ

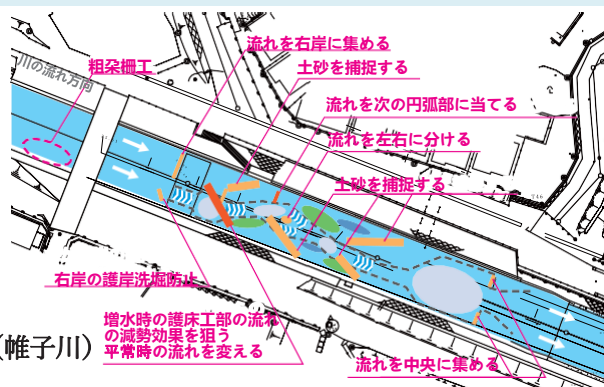


## 「川づくりコーディネーター」ってなに？

川づくりコーディネーターは、川づくりの施工の専門家のみならず、組織づくり、活動の進め方、広報の仕方、プランの作成の仕方、作成プランの運用ノウハウに至るまで、広範にわたりアドバイスする、市に登録する専門家のことです。専門的知識や資格を持つ各分野の専門家を登録します。

コーディネーターと一緒に、地域の川の将来像を描き、プランを作り、川づくりを実践するといった検討を進めていきます。

市民の手作りによる石組み施工（帷子川）





## 市民協働による魚類等の生息環境改善の取組事例

流れに変化がある川づくりや簡易魚道など、魚類の生息環境の改善はちょっとした工夫で実施できるものもあります。ご近所の川で実施できないか考えてみませんか？

蛇行する流れをつくる石組み工（帷子川）



横浜の人々の  
風景と  
ともにある川

水深に変化をつける石組み落差工（黒須田川）



半割コルゲート管を利用した魚道  
(出典：水田魚道づくりの指針)



### お問い合わせ先

担当：横浜市下水道河川局河川企画課

電話：045-671-4215

メール：gk-riverkikaku@city.yokohama.lg.jp

土嚢を使った簡易魚道の例

(多摩川 出典：東京都島しょ農林水産総合センター)



みんなでいろいろ  
試してみましょう！